

第 18 回裏磐梯ビジターセンター研究発表会報告

第 18 回裏磐梯ビジターセンター研究発表会が 2025 年 3 月 9 日、休暇村裏磐梯天文台ホール（北塩原村檜原字小野川原）にて開催されました。全部で 9 題の研究発表があり、裏磐梯ビジターセンターのスタッフ合わせて 30 名弱の方が参加されました。磐梯朝日自然環境保全研究所のメンバーの研究室からは、塘研大学院生（M1）の柴田史音君、柴崎研大学院生（M2）の鳥越雄太郎君の 2 名が発表しました。柴田君の発表タイトルは「外来種フロリダマミズヨコエビは在来種オオエゾヨコエビに負の影響を与えるのか?」、鳥越君の発表タイトルは「水文地質環境が地中熱ポテンシャルの地域性・一般性に及ぼす影響-福島県猪苗代平野および会津盆地を例にして-」でした。これら 2 題以外の研究発表は、高校生などが 3 題（1 題は横浜の高校生たちがオンライン発表）、郡山女子大学短期大学部（教員が代理で発表）、立教大学と文教大学の共同研究、環境省裏磐梯自然保護官事務所による報告、磐梯町の地域おこし協力隊の方による発表でした。内容はウチダザリガニ関係が 2 題、五色沼湖沼群の色の秘密、五色沼自然探勝路の巡視記録と雄国沼湿原でのニホンジカ調査、猪苗代町での防災計画と避難シミュレーション、磐梯山・吾妻連峰の山岳信仰、桧原・裏磐梯地区の振興に向けた課題と提案、とバラエティに富んでいました。高校生たちによる発表はどれも研究やプレゼン準備への一生懸命さが伝わるもので、それらに対して会場からはエンカレッジするコメントが多くありました。ウチダザリガニ、ニホンジカ、フロリダマミズヨコエビなど、生態系に負の影響を及ぼす生物、地域（地元）の自然、文化、振興、防災などに関する現状や課題を発表者と参加者が共有することができ、とても有意義な発表会だったと感じました。発表された柴田君、鳥越君、お疲れ様でした。



研究発表会会場の様子



裏磐梯ビジターセンター中島さんによる開会挨拶



柴田君（塘研大学院生 M1）の発表



鳥越君（柴崎研大学院 M2）の発表